

第6回 巖木川中島地区かわまちづくり協議会 議事要旨

日 時：令和8年3月25日(水) 15:00～16:40

場 所：唐津市巖木市民センター 2F 大会議室

出席者：出席者名簿のとおり

議事概要

1.第5回協議会からの経過と協議内容(令和7年度の振り返り)

- 令和7年度のかわまちづくりの取り組みの振り返りとして、第5回協議会から第10回ワークショップまでの経過、協議内容及び参加者からの意見等について、事務局から説明資料を用いて説明を行った。

2.第9回、第10回のWS結果を踏まえた今後の整備(案)等

- 令和7年度に行った第9回、第10回のワークショップを通じて決定した今後の整備(案)の内容、一部工事着手した箇所の状況について、事務局から説明資料を用いて説明し、本案をもとに令和8年度も引き続き整備内容を具体化しつつ詳細設計を進めて行くことを確認した。

3.今後の進め方について

- 令和8年度のスケジュール(案)、今後の工事着手予定箇所について、事務局から説明資料を用いて説明し了解を得た。

4.その他

中島地区かわまちニュースの紹介

巖木川の魅力的な環境、かわまちづくりの取り組みについて、今後も関係者と調整しながらかわまちニュースの配布先を増やすなど、広報拡大に取り組んでいくことを事務局から報告した。

オオカナダモ除去等の支援制度について

川づくりに関わる地元の任意団体向けの様々な支援制度が設けられている河川基金と佐賀県 KAWARU プロジェクトを紹介した。

協議会での意見

- 議事内容について、委員から以下のとおり意見をいただいた。

	意見	事務局回答
①	保健センターの建物を利用して巖木川の淡水魚を展示する水族館が造れたらいいと思う。	コミュニティセンター、保健センターについては、令和12年頃の複合施設の完成を待つすべて解体する計画となっている。また、水族館となれば水の循環施設が新たに必要となることが予想されるため、実現性が難しいかもしれない。

②	新中島橋の上流区間では、護岸肩から天端道路までの間に土羽の法面が続いており、除草の際に滑落しそうで危険なため、護岸を天端道路くらいの高さまで嵩上げして法面を無くしたフラットな形にできないか。	護岸が前出し形状となり、河道の断面が今より狭くなることで、治水上の課題も出てくるため、今後のWS等を通じて地域の方の意見を聞きながら検討していきたい。
③	道の駅厳木からコミセン前に生い茂っている樹木について、見通しをよくするために伐採して欲しい。どうしたらこれらの樹木を伐採できるのかを検討し提案して欲しい。	道の駅厳木からの見通しが良くなるよう、伐採が必要と思われる樹木について、関係者と調整して取り組んでいきたい。
④	コミセン前の河原の整備と合わせて、コミセン等施設の解体になるべく早め着手して欲しい。	令和12年頃の複合施設完成後に解体に着手すると想定しているが、コミセン等施設の跡地活用計画を含めて早く解体できるように市の中でも強く要望していく。
⑤	地域で利用できるリモコン型草刈りを購入したいと考えているが、補助金など利用できそうな制度などがあれば教えて欲しい。	必要機材の購入費などへ利用できる助成や補助金の支援制度がないか調査するなど、引き続き支援していきたい。
⑥	厳木多久有料道路の無料化後も道の駅に来る人を維持したいので、公園の名称などを記した看板を設置しPRしたい。	厳木多久有料道路料金所のトイレも同時に封鎖されるので、トイレで道の駅に繋げるような看板設置を県の方で検討しているようだ。水辺エリアの案内看板も、関係主体を巻き込み対応を頑張っていきたい。

開催状況

	
<p>会長挨拶</p>	<p>協議会の様子</p>
	
<p>協議会の様子</p>	<p>協議会の様子(質疑応答)</p>

協議会の開催状況

第6回 巖木川中島地区かわまちづくり協議会

日時：令和8年3月25日（水）15：00～

場所：唐津市巖木市民センター

議事次第

1. 開会

2. 挨拶

3. 議事

【説明資料】

① 第5回協議会からの経過と協議内容（令和7年度の振り返り）

② 第9回、第10回のWS結果を踏まえた今後の整備（案）等

③ 今後の進め方について

・令和8年度のスケジュール（案）

・今後の工事着手予定箇所（令和8年度）

④ 質疑応答

4. その他

⑤ 中島地区かわまちニュースの紹介

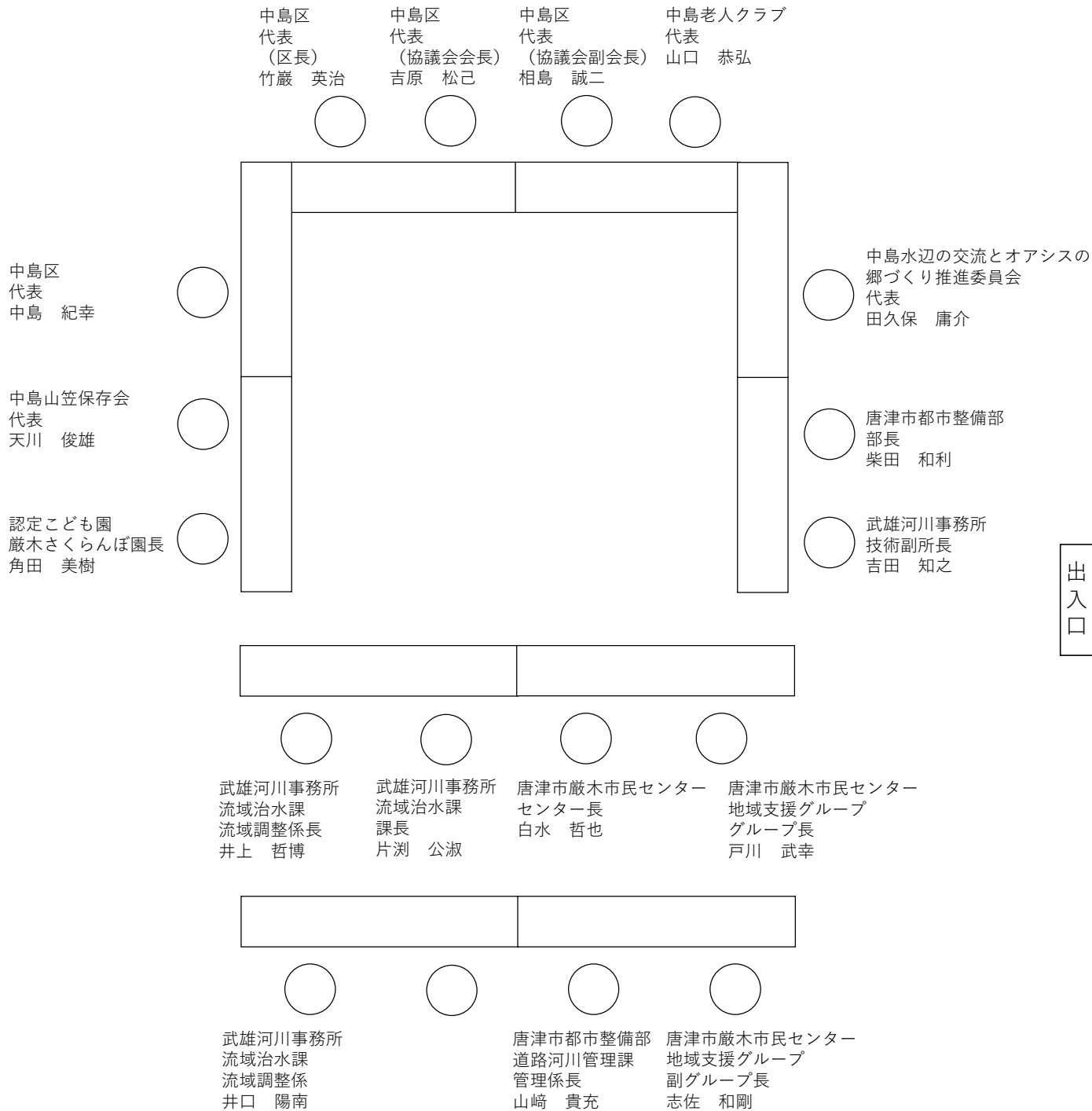
⑥ オオカナダモ除去等の支援制度について

5. 閉会

第6回 巖木川中島地区かわまちづくり協議会

配席図

日時：令和8年3月25日（水）15：00～
場所：巖木市民センター大会議室



出席者名簿

第6回 厳木川中島地区かわまちづくり協議会

日時 令和8年3月25日(水) 15時～

場所 厳木市民センター大会議室

区分	所属	役職	氏名	備考
委員	中島区	代表	吉原 松己	(協議会会長)
委員	中島区	代表	相島 誠二	(協議会副会長)
委員	中島区	代表	竹巖 英治	(区長)
委員	中島区	代表	中島 紀幸	(理事)
委員	中島区	代表	田久保 貴章	欠席
委員	中島老人会クラブ	代表	山口 恭弘	
委員	中島山笠保存会	代表	天川 俊雄	
委員	中島水辺の交流とオアシスの郷づくり推進委員会	代表	田久保 庸介	(事務局次長)
委員	中島壮年部	代表	小浜 義博	欠席
委員	株式会社 風のふるさと館	代表取締役	千喜田 省三	欠席
委員	厳木小中学校	校長	前田 雅利	欠席
委員	認定こども園厳木さくらんぼ	園長	角田 美樹	
委員	きゅうらぎデザイン	代表	竹花 奈美子	欠席
委員	唐津市都市整備部	部長	柴田 和利	
委員	武雄河川事務所	技術副所長	吉田 知之	
事務局	唐津市厳木市民センター	センター長	白水 哲也	
事務局	唐津市厳木市民センター 地域支援グループ	グループ長	戸川 武幸	
事務局	唐津市厳木市民センター 地域支援グループ	副グループ長	志佐 和剛	
事務局	武雄河川事務所 流域治水課	課長	片淵 公淑	
事務局	武雄河川事務所 流域治水課	流域調整係長	井上 哲博	
事務局	武雄河川事務所 流域治水課	技官	井口 陽南	
事務局	武雄河川事務所 松浦川出張所	出張所長	関谷 賢正	欠席
唐津市	唐津市都市整備部 都市計画課 計画景観係	係長	鋤野 友香	
唐津市	唐津市都市整備部 道路河川管理課 管理係	係長	山崎 貴充	

第6回 巖木中島地区 かわまちづくり協議会

佐賀県唐津市
九州地方整備局武雄河川事務所



令和8年3月25日

第5回協議会から第10回
WSまでの経過と協議内容
(令和7年度の振り返り)

1. 巖木川中島地区かわまちづくり 令和7年度の目標と実施

■ 目標

- ①生物の生息環境保全・創出等に向けた調査検討・設計を進める
- ②地域の将来を担う小学生等が環境学習や水遊びの場として利活用してもらえるような現地学習会を行う
- ③詳細設計を実施しつつ、本格工事に向けて一部工事にも着手していく

■ 令和7年度の取り組み状況

開催時期	取り組み	実施内容等
R7.5/15(木)	第5回協議会	■ 振り返り、令和7年度の進め方(案)の説明
R7.6/18(水)、19(木)	巖木高校体験学習(前期)	■ 現地での事業説明と体験学習、意見聴取
R7.9/12(金)	巖木小学校環境学習会	■ こどもKY、魚とり体験、川流れ体験等
R7.10/25(土)	第9回ワークショップ	■ 川リンピックエリア、どんど焼きエリアの整備に関する話し合い、一部工事箇所の説明
R7.11/5(水)～	一部工事着手	■ 巖木コミセンエリアの一部河道整正等に着手
R7.12/3(水)、4(木)	巖木高校体験学習(後期)	■ 現地での事業説明と体験学習、意見聴取
R8.1/18(日)	第10回ワークショップ	■ 川リンピックエリア、どんど焼きエリアの整備(案)の報告、フィールドワーク
R8.3/25(水)	第6回協議会	■ 振り返り、令和8年度のスケジュール(案)の説明

2. 第5回協議会の開催状況

開催概要

- 日時：令和7年5月15日(木)
- 会場：唐津市厳木市民センター
- 参加者：11名

議事内容

- 令和7年5月15日、第5回厳木川中島地区かわまちづくり協議会を開催した。
- 協議会では、第4回協議会からの経過報告と、令和7年度のかわまちづくりの進め方について説明した。

主な意見

- 川辺の遊歩道について、園児を歩かせたいので、どのようなイメージの整備となるか教えてほしい。
- 淡水魚水族館のようなものを整備してはどうか。
- オオカナダモの除去等の維持管理について、補助金や支援制度を今後も教えてほしい。



3. 巖木高校体験学習（前期・後期）

実施日：令和7年6月18日(水),19日(木)
令和7年12月3日(水),4日(木)

目的：地元の高校生に実際に現場を体験してもらい、“現状の分析”と“未来に向けた魅力あるかわまちづくり案”への自由な意見を聞き出してかわまちづくりの参考とする

実施内容：体験学習・川の通信簿



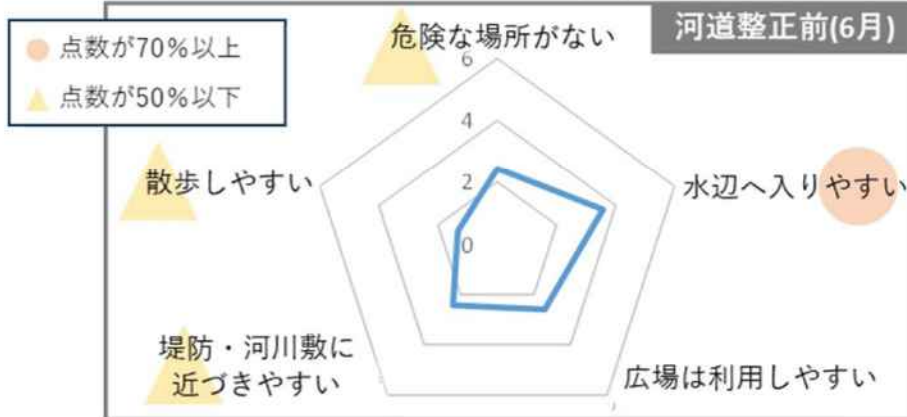
河道整正により創出された浅水域



仮設スロープの整備（勾配7%）

[体験学習の結果]

河道整正の前後で実施した体験学習会では、仮設スロープや浅水域の創出など部分的な整備に伴い、水辺に入りやすく散歩しやすくなったなど、利便性・安全性に関する評価が向上した



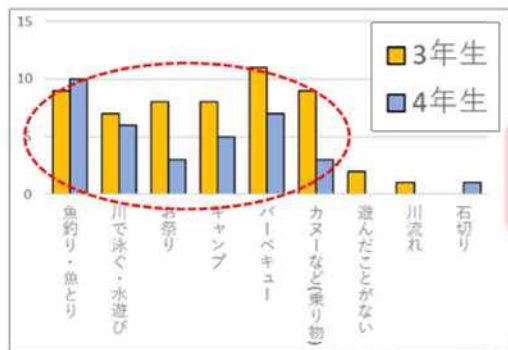
感じ方の変化

4. 巖木小学校環境学習会

- **実施日:**令和 7年 9月 12日 (金) 8:30~12:00
- **目的:**地域のこどもたちが巖木川での環境学習を通じて身近な川に親しみをもち、この学習会で得られた意見をかわまちづくりに反映する
- **実施内容:**こどもKY・魚とり・魚の確認・川流れ



[環境学習会の結果]
 魚とりや川流れの体験を通じて、巖木川を魅力的な空間として認識してもらえる良い機会となった。また、こどもKY活動により安全面での学びを深めることが出来た。



◆ 巖木川でやってみたいこと
 魚とりや川で泳ぐことに加え、キャンプ・バーベキューなどのアウトドア体験も要望が多い



楽しい 気持ちいい 気持ち 取れる 釣れる 釣りができる わかる 深い 流れ 冷たい 魚 泳ぐ 気持ちいい 釣れる 二ホンウナギ 触る 触れる 踏ん張る 危険 浮く 場所 流す みる 川 好き 遅い ウォータースライ...

参加者全員が“楽しかった!”と回答



5. 第9回ワークショップの開催概要

開催概要

日時：令和7年10月25日(土)
13:00~15:00

会場：中島集会所

参加者：16名

実施概要

●全体説明

- ・ 取り組み状況の説明
- ・ 前回（第8回）のおさらい
- ・ 巖木コミセンエリアの予備設計結果の報告

●グループワーク

【川リンピックエリア、
どんど焼きエリアの未来の姿を考えよう】

- ・ 各エリアについて、整備施設やその条件をみなさんに話し合っていた

●各グループの発表・全体とりまとめ



資料説明



集合写真



グループワーク



グループワーク



発表

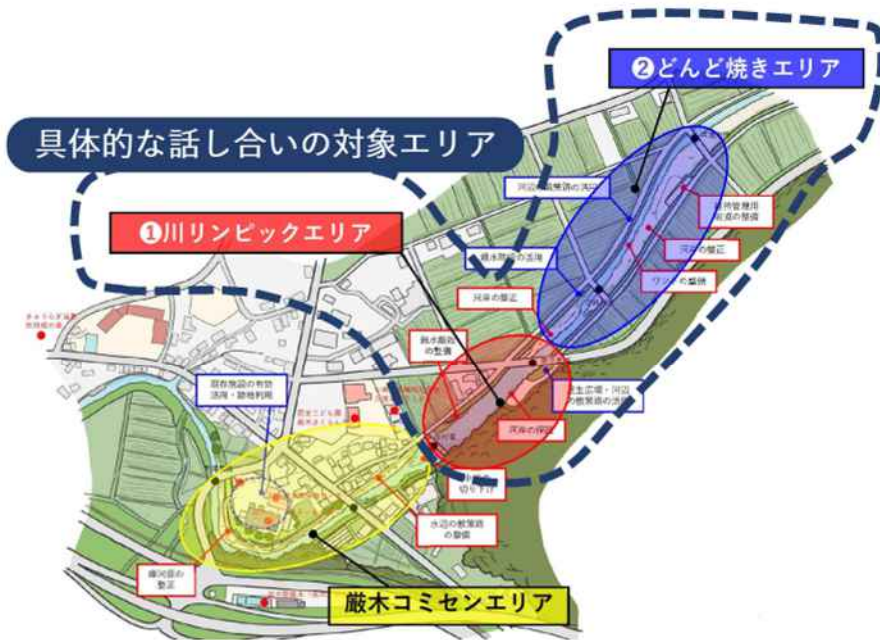


発表

6. 第9回ワークショップの開催概要

ワークショップでの話し合い

- 第8回ワークショップまでの意見を反映した“厳木コミセンエリア”の予備設計結果を報告し了解を得た。
- “川リンピックエリア”および“どんど焼きエリア”の2エリアについて、どのような使い方をしたいか、そのために必要な整備や条件は何かを話し合った。



川リンピックエリア・どんど焼きエリアへの主な意見

こまわしいこと・厳格	川リンピックエリア	右岸	<ul style="list-style-type: none"> ・水遊びにアクセスしやすいので広々とした分かりやすい階段が欲しい（オオカナダモ除去にも活用できる）。 ・ホタルを観賞する際の広い階段護岸や、土地勘のない人の安全面のため、足元を照らす照明があるとよい。 ・右岸側でホタル観賞できるような階段護岸があるとよい。
	川リンピックエリア	左岸	<ul style="list-style-type: none"> ・オアシス広場前からゴムボートを降ろしたり川に入ったりする階段等のアクセス路が欲しい ・地元だけでなく他地域の人達にも使って欲しい。 ・ターザンロープが設置しやすいような杭やポール、タラップを設置してほしい。
	どんど焼きエリア		<ul style="list-style-type: none"> ・未来の担い手への負担を減らすために、どんど焼き範囲外の砂州を撤去して欲しい（出来るだけコンパクトに）。 ・右岸側の護岸法肩～道路のスペースにサクラを植樹できないか？ ・川幅（水面幅）をひろげてほしい、汐井川橋直下右岸の階段をスロープにしてほしい。

7. 第10回ワークショップの開催概要

開催概要

日時：令和8年1月18日(日)
9:30～12:30

会場：中島集会所

参加者：33名



資料説明



集合写真

実施概要

●全体説明

- ・ 取り組み状況の説明
- ・ 前回（第9回）のおさらい
- ・ 川リンピックエリア、どんど焼きエリアの整備(案)と工事予定、巖木コミセンエリア前の一部河道整正状況の説明

●フィールドワーク

- ・ 現地を歩きながら、①どんど焼きエリア、②川リンピックエリア、③巖木コミセンエリアに対する地区の方々のご意見を伺った。

●今回のWSを受けてのアンケート



フィールドワーク
(どんど焼きエリア)



フィールドワーク
(川リンピックエリア)



フィールドワーク
(コミセンエリア：河道整正)



フィールドワーク
(コミセンエリア：スロープ)

第9回WS、第10回WS結果
を踏まえた今後の整備(案)等

9. 巖木コミセンエリアの予備設計内容

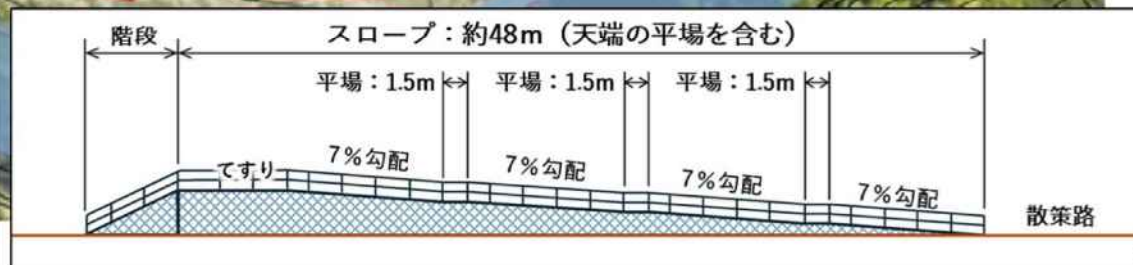
① コミュニティセンター前スロープ

- 第9回ワークショップにて了解を得られた下図の予備設計内容をもとに、詳細設計を進めていく。
- 散策路や今村堰下流スロープは引き続き、治水上の安全性を精査して詳細設計を進める。



【ワークショップ等での意見の反映内容】

- スロープの上部、下河原橋側に川に下りられる階段を追加
- スロープには手すりを設置
- 坂路幅は4m、河原の散策路幅は3m
- 坂路勾配はゆるやかな7%で設定



9. 巖木コミセンエリアの予備設計内容

②散策路（コミセン前～中島橋）

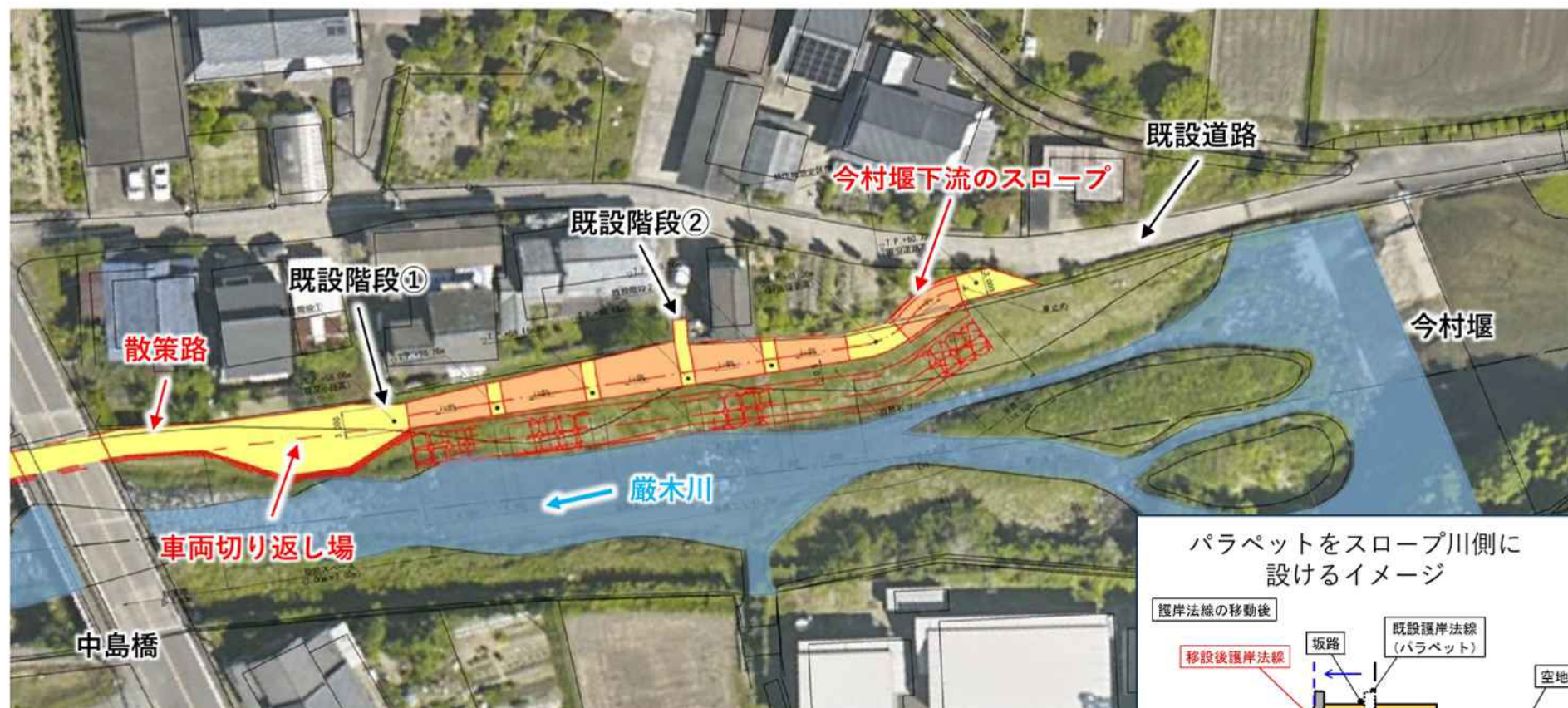
- 第9回ワークショップにて了解を得られた下図の予備設計内容をもとに、詳細設計を進めていく。
- 散策路や今村堰下流スロープは引き続き、治水上の安全性を精査して詳細設計を進める。



9. 巖木コミセンエリアの予備設計内容

③今村堰下流スロープ

- 第9回ワークショップにて了解を得られた下図の予備設計内容をもとに、詳細設計を進めていく。
- 散策路や今村堰下流スロープは引き続き、治水上の安全性を精査して詳細設計を進める。



【ワークショップ等での意見の反映内容】

- 水辺の散策路から既設道路へのアクセスとしてスロープを設置
- スロープの川側へのパラペットの設置により、現況の流下能力を確保する
- 川幅が狭いため、洪水時の影響を小さくするためにスロープ幅は3m、勾配は8%とした
- スロープの下部に緊急車両の切り返し場を設けた

10. 川オリンピックエリアの整備内容（案）

- 第10回ワークショップにて得られた意見を踏まえ、以下のとおり詳細設計を進める。
 - 【右岸側】・右岸道路から河川へのアクセス性向上、利便性向上（ホタル観賞など）を図る。
 - ・既設階段と接続する階段（コンクリート構造物、幅10m程度）を設置する。
 - 【左岸オアシス広場前】・オアシス広場から河川内へのアクセス性の向上
 - ・既設護岸下流への階段の設置（コンクリート構造物、幅4m程度）
- 当該区間は現在、追加測量調査を実施中であり、測量結果を基に治水上の安全性を精査して詳細設計を進める。



11. どんど焼き※エリアの整備内容（案）

※中島地区では「鬼火焼き」として行われている。

- 第10回ワークショップにて得られた意見を踏まえ、以下のとおり詳細設計を進める。
【整備目標】
 - ・維持管理労力の削減に繋がる整備とする。
 - ・河原の整正（範囲の縮小、凸凹の整正、大きな石の除去等）を進める。
 - ・河川内へアクセスしやすくするために、下流側への階段の移設等を検討する。
- 当該区間は現在、追加測量調査を実施中であり、測量結果を基に治水上の安全性を精査して詳細設計を進める。



11. どんど焼き※エリアの整備内容（案）

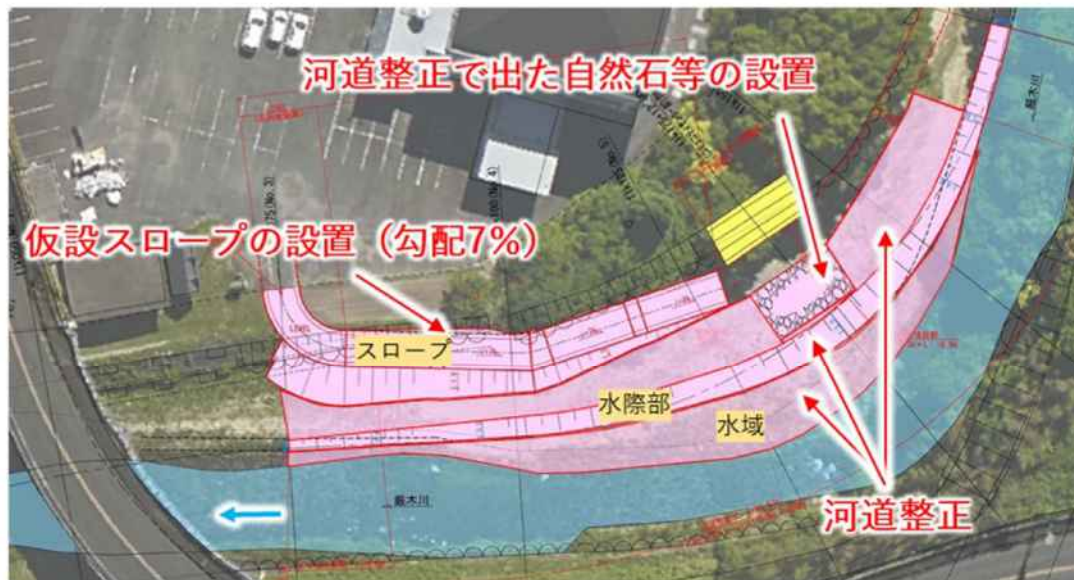
※中島地区では「鬼火焼き」
として行われている。

- 第10回ワークショップにて得られた意見を踏まえ、以下のとおり詳細設計を進める。
 - 【水域内】 ①河岸の多様性確保による生物の生息場創出、②護岸の安定性確保、を旨し水制を設置。
 - 【どんど焼きエリア】 ・維持管理・利活用のための河原へのアクセス性向上を図る。
 - ・坂路の設置（坂路幅4m、勾配10%、舗装無し）
 - ・鬼火焼きができる平場を整備（現在の鬼火焼き実施箇所程度の河原面積を確保）
 - ・河原の整正（範囲の縮小、凸凹整正、大きな石の除去等）
- 当該区間は現在、追加測量調査を実施中であり、測量結果を基に治水上の安全性を精査して詳細設計を進める。



12. かわまちづくりの工事状況について

■ 巖木コミセンエリアの工事前と工事中の状況



事業に関する 広報活動

13. かわまちニュースの作成と配布

ワークショップニュースのリニューアル

- 厳木川中島地区でのかわまちづくりの事を広く知って頂くために、これまでの「ワークショップニュース」を「中島地区かわまちニュース」としてリニューアルした。

今後さらに広くPRしていききたい!!

【現時点での配布状況】

- * 中島地区…130部
- * 市民センター…20部
- * 厳木高校…学習会にて配布(9号のみ)
- * 厳木小中学校…2部(9号のみ)

中島地区かわまちニュース 9号

令和7年11月 環境学習編

環境学習会 厳木小学校 & 厳木高校

厳木小学校の子どもたちと一緒に 厳木川について調べたよ!

■ 厳木小学校3・4年生とこんなことをしたよ!

- 川遊びを安全に楽しむための注意点(こどもKY)について学びました。
- 川で危険な状況になった場合の対処法をスタッフが実演し、水辺での危険な箇所と安全な遊び方を体験しました。
- 厳木川に住む生き物探しと川の流れを楽しみました。

こどもKYとは?

KY活動(K:危険、Y:予知)は作業を始める前に、その場に潜む危険についてチームで話し合い、危険を未然に防ぐための対策を立てる活動のこと

危険箇所をクイズで予測

こどもたちと一緒に 先の中でのどこに危険が潜むか考えてみました!

危険ポイント①、②、③の中でどこに危険が潜むと思いますか?

実は... ①流される～②波～③マダムなどに注意!

ということで、すべてに危険が潜みます!

ダム下流の注意点

川あそびのお約束

体験学習会をしました

厳木川川岸の現状(景観・自然環境・施設・設備など)を調査しました。

現状の分析

電線・河川敷に近づきにくい散歩・広場利用がしにくい、案内看板等も不足。

川岸の通信作成(ワークショップ)

厳木川に必要か? 散歩がしやすかったり、案内がわかりやすい対策が必要である。

中島地区かわまちニュース 10号

令和7年11月:ワークショップ編

地域の皆さんとともに作る!

「厳木川中島地区かわまちづくり」について「かわ(厳木川)」と「まち(中島地区周辺)」が一体となったより良い空間としていくためのワークショップ(WS)を行っています。

第9回WSのテーマ

川リンピックエリア、どんと焼きエリアの未来を考えよう!

開催概要

日時: 令和7年10月25日 13:00~15:00

会場: 中島集会所

参加者: 16名(子ども1名)

開催要綱

- 13:00 開会
- 13:05 全体説明
- 13:15 かわまちづくりの取組状況
- 13:20 前回(第8回)ワークショップのおさらい
- 13:25 厳木コミセンエリアの予備設計結果報告
- 13:30 川づくりの事例紹介
- 13:35 グループワーク
- 13:40 川リンピックエリア、どんと焼きエリアの未来の姿を考えよう
- 14:55 これからの予定・閉会

プログラム

川リンピックエリア、どんと焼きエリアの予備設計結果を報告しました。

前回(第8回)ワークショップでの意見を反映した、厳木コミセンエリアの予備設計結果を報告しました。

皆さんでワイワイ楽しく意見交換!

今回テーマの2エリア

川リンピックエリア

どんと焼きエリア

皆さんからの意見と発表の様子

それぞれの意見を全力でPRします!

川リンピックエリア、どんと焼きエリアの主な意見

- 1. 川岸から遊歩道を通り川に入ったりする危険等のアクセス設計(川岸に近づきにくい、階段を安全でできる範囲内)
- 2. 石が危険なので何となくして欲しい
- 3. ロープが設置しやすいような柱やポール、ステップを設置して欲しい。
- 4. 石の除去作業が楽になるよう、増設上流の岩留めに階段が欲しい。
- 5. 川岸の整備の計画にも関わって欲しい。
- 6. 水遊びにアクセスしやすいので広々とした分かれやすい階段が欲しい。
- 7. ホタルを観賞する際、土地勘のない人には真っ暗で危ないので、足元を照らす必要がある。
- 8. ホタルを観賞できる広い階段が欲しい。
- 9. 川岸への負担を減らすために、どんと焼き集会所の砂川を除去して欲しい(土の懸崖があるなら無理は言わない)
- 10. 川岸に近づきにくいので、階段は必要ない。
- 11. 川岸に近づきにくいので、階段は必要ない。
- 12. 川岸に近づきにくいので、階段は必要ない。
- 13. 川岸に近づきにくいので、階段は必要ない。
- 14. 川岸に近づきにくいので、階段は必要ない。
- 15. 川岸に近づきにくいので、階段は必要ない。
- 16. 川岸に近づきにくいので、階段は必要ない。

川岸の整備は3年程度にはしてほしい。

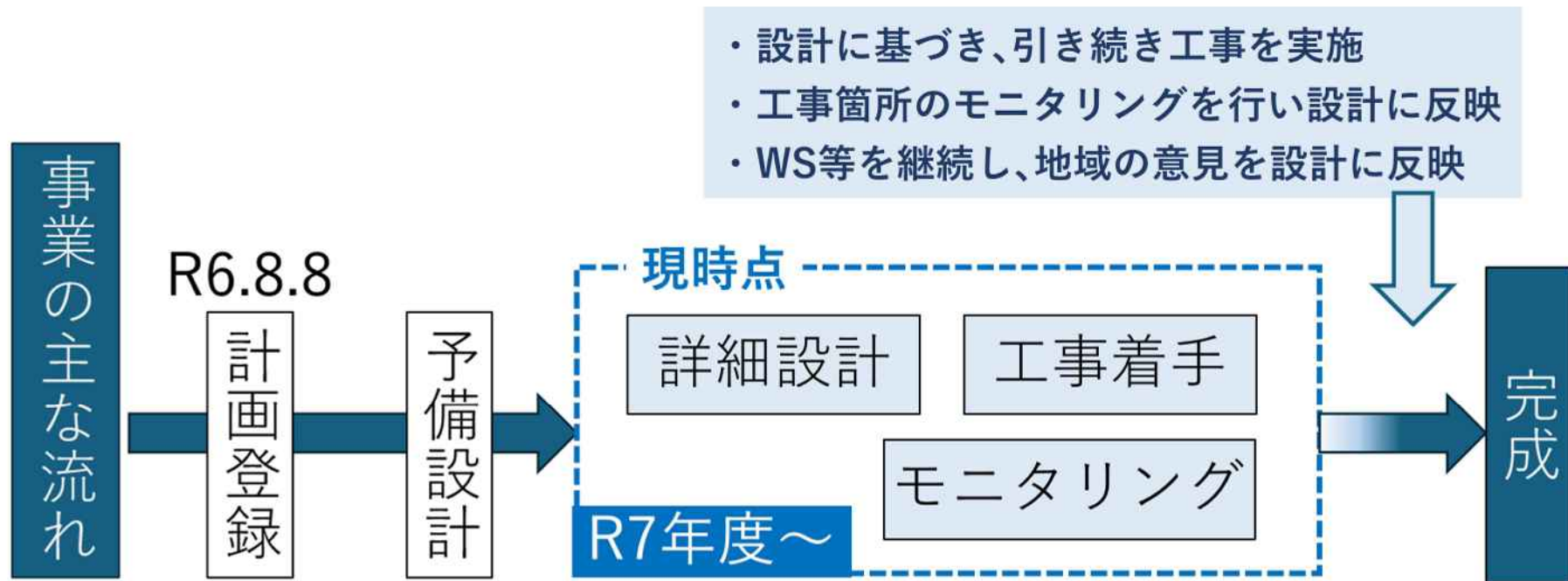
今年も未来の中島地区にむけて意見交換ができました

11月から12月までのワークショップはかま?

地域の子もたちや中高生が環境学習を体験することで、身近な川に親しみをもち、そこで得られた意見をかわまちづくりに反映していきたいと思っています。

巖木川中島地区かわまちづくり 令和8年度のスケジュール(案)

14. 中島地区かわまちづくりの進め方



計画、予備設計、詳細設計へと、工事着手に向けて段階的に精度を上げていく



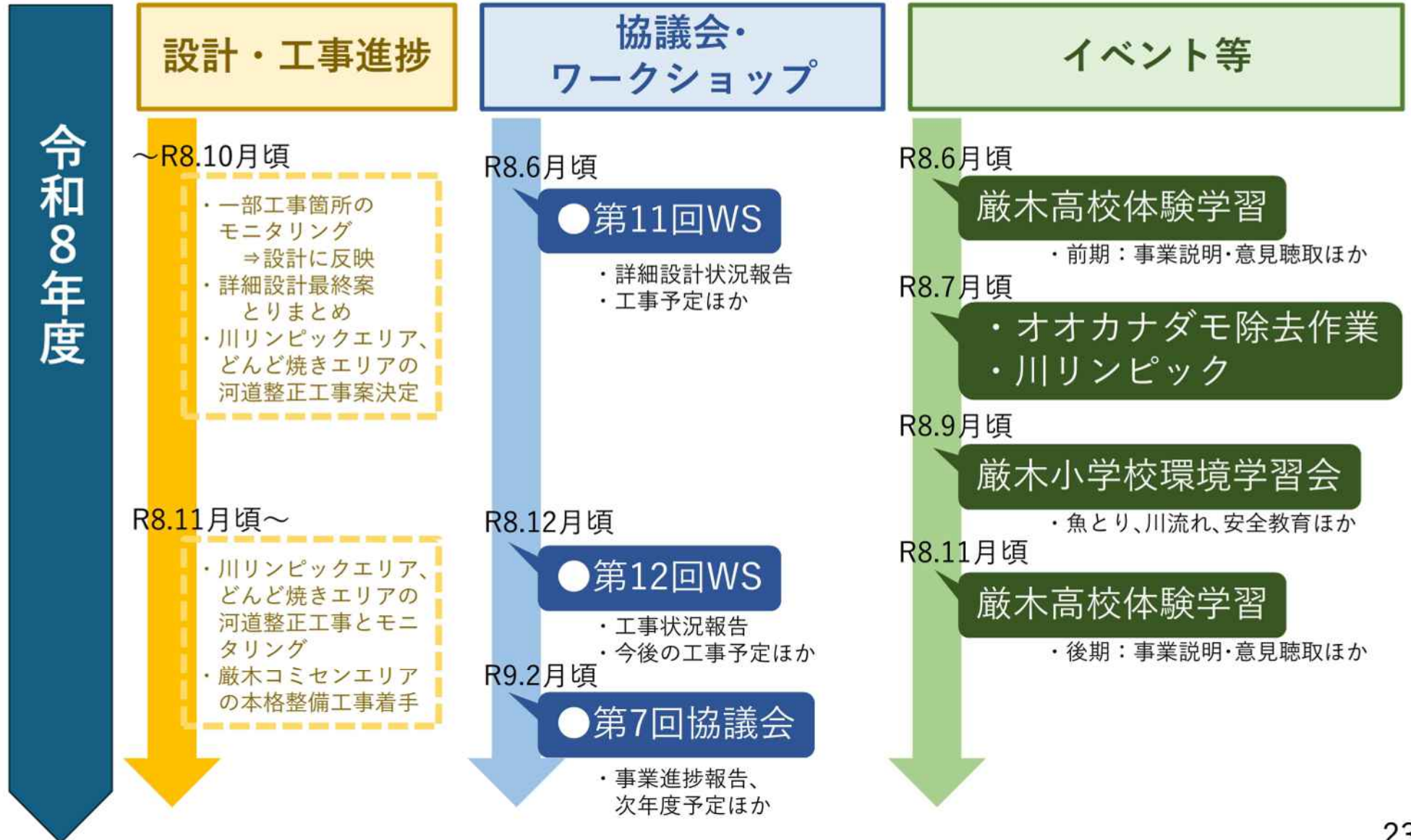
・これまでワークショップは10回、協議会は5回実施

【注意】

設計の結果については、ワークショップや協議会で議論するだけでなく、**国の内部でも審査を行い、決定していく。**

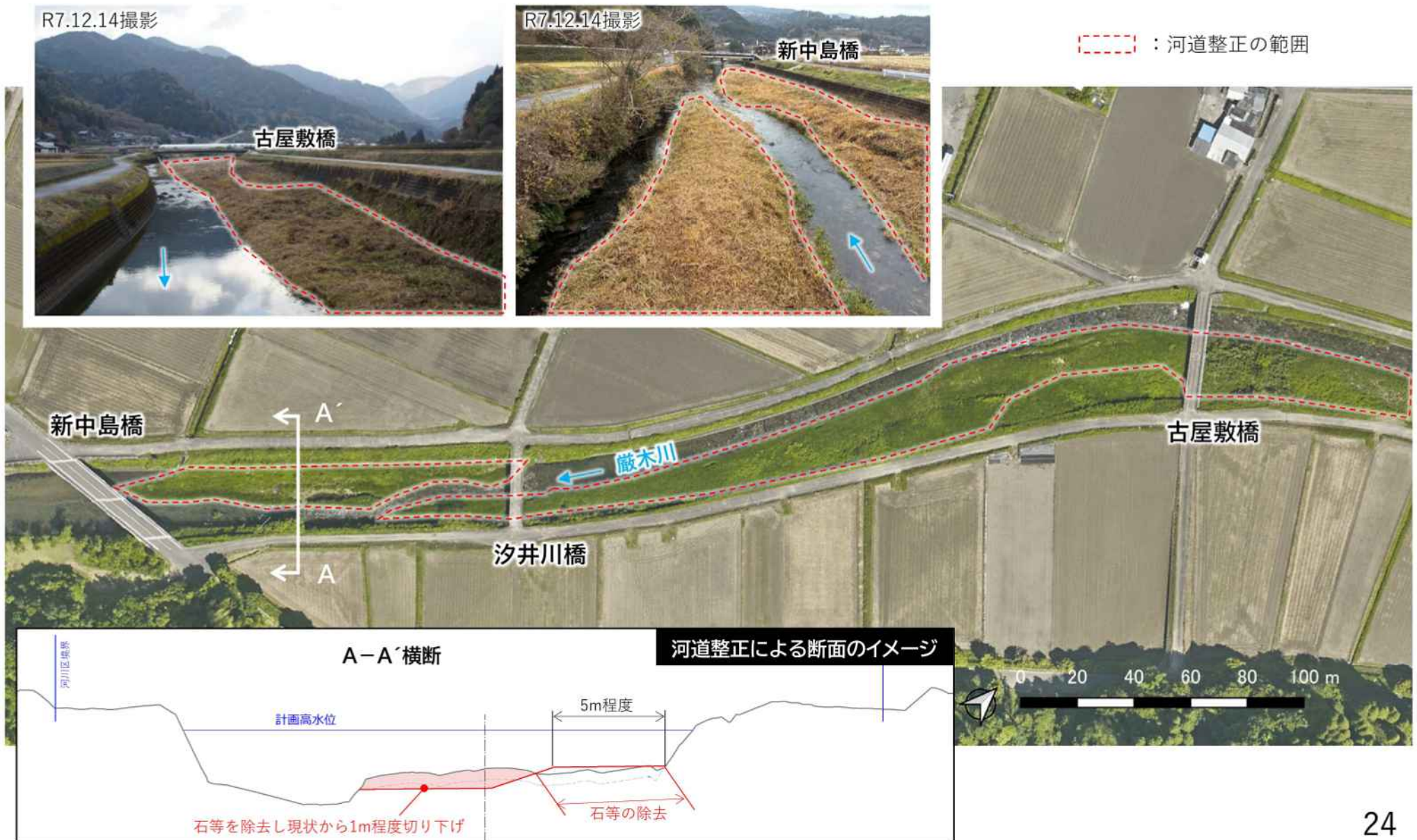
15. 令和8年度のスケジュール(案)

中島地区や関係団体の方々にご参加・ご協力いただきたい取り組み



16. 今後の工事着手予定箇所(R8年度)

今後の工事予定（どんど焼きエリアでの河道整正）



厳木川中島地区かわまちづくり協議会 要綱

(名称)

第1条 本協議会は「厳木川中島地区かわまちづくり協議会」(以下「協議会」という)と称する。

(目的及び設置)

第2条 協議会は、厳木川が流れる唐津市、関係団体及び地元住民と厳木川を管理する国土交通省九州地方整備局武雄河川事務所が相互に連携し、厳木川(中島地区)の水辺に河川空間とまちの空間が融合した魅力ある地域を創出する取組を実現するため、今後の方向性及び具体的な手法、維持管理等を検討・推進することを目的に設置する。

(協議会の構成)

第3条 協議会は、別表に掲げる委員をもって構成する。

(会長及び副会長)

第4条 協議会には会長、副会長を置くこととし、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は協議会の運営と進行を総括し、協議会を代表する。
- 3 会長が事故等の理由により出席できない場合には、副会長もしくは会長があらかじめ指名する者が職務を代行する。

(協議会の招集・開催)

第5条 協議会の招集・開催は事務局が行う。

- 2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

(意見の聴取)

第6条 会長は、必要があると認めるときは、別表に掲げるもの以外に会議への出席を求め、意見を聴くことができる。

(協議会の公開)

第7条 協議会資料及び議事要旨については、原則、公開する。

(ワーキンググループの設置)

第8条 協議会の円滑な運営に資するため、ワーキンググループを設置することができる。

- 2 ワーキンググループは、事務局が必要に応じて招集・開催する。
- 3 ワーキンググループは、かわまちづくりに係る関係団体・地域住民・行政機関等の意

見を聴取し、かわまちづくりの各種調査・計画・維持管理等の検討・調整を行い、その結果について協議会に報告する。

(事務局)

第9条 協議会の事務局は、佐賀県唐津市厳木市民センター地域支援グループ及び武雄河川事務所流域治水課に置く。

(要綱の改正)

第10条 本要綱の改正は、協議会委員総数の過半数の同意をもってこれを行う。

(雑則)

第11条 本要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会において定める。

附則

(施行期日)

この要綱は、令和5年11月15日から施行する。

令和6年8月7日改定

令和7年5月15日改定

別表

厳木川中島地区かわまちづくり協議会 名簿

委員区分	氏名	所属	役職
地元住民代表及び 地域関係団体等	吉原 松己	中島区	代表
	相島 誠二	中島区	代表
	竹巖 英治	中島区	代表
	中島 紀幸	中島区	代表
	田久保 貴章	中島区	代表
	山口 恭弘	中島老人クラブ	代表
	天川 俊雄	中島山笠保存会	代表
	田久保 庸介	中島水辺の交流とオアシスの郷 づくり推進委員会	代表
	小浜 義博	中島壮年部	代表
	千喜田 省三	(株)風のふるさと館	代表取締役
	前田 雅利	厳木小中学校	校長
	角田 美樹	認定こども園厳木さくらんぼ	園長
	竹花 奈美子	きゅうらぎデザイン	代表
行政団体	柴田 和利	唐津市都市整備部	部長
	吉田 知之	国土交通省・九州地方整備局 武雄河川事務所	技術副所長

環境学習会 巖木小学校 & 巖木高校

巖木小学校の子どもたちと一緒に 巖木川について調べたよ!

令和7年9月12日(金)



■ 巖木小学校3・4年生とこんなことをしたよ!

- 川遊びを安全に楽しむための注意点(こどもKY)について学びました。
- 川で危険な状況になった場合の対処法をスタッフが実演し、水辺での危険な箇所と安全な遊び方を体験しました。
- 巖木川に住む生き物探しと川流れを楽しみました。



流される〜
ギャー!

こどもKYとは?

KY活動(K:危険、Y:予知)は作業を始める前に、その場に潜む危険についてチームで話し合い、危険を未然に防ぐための対策を立てる活動のこと

危険箇所をクイズで予測



こどもたちと一緒に
左の図の中でどこに危険が
潜むか考えてみました!

危険ポイント①、②、③の中でどこ
に危険が潜むと思いますか??

実は。。

- ①流される〜
- ②沈む〜
- ③マムシなどに注意!



流される!!!



ということで。。
すべてに危険が潜みます!

ダム下流の注意点

△大雨のとき(洪水)△

令和5年7月の時の様子
(ここからすぐ上の中島橋)



サイレンが鳴ったら
川からあがろう



川あそびのお約束

ライフジャケット

必ずライフジャケットをつけよう
うきわをもっているライフジャ
ケットがひつようだよ



ぼうし
ヘルメット

頭を守るためにぼうしや
ヘルメットをかぶろう
ひも付きだと落下も防げるよ

ウォーターシューズ
うんどうぐつ

かかとは固定されている
くつをはこうね

令和7年11月：ワークショップ編

地域の皆さんと
ともに作る！

「厳木川中島地区かわまちづくり」について
「かわ(厳木川)」と「まち(中島地区周辺)」が一体となった
より良い空間としていくためのワークショップ(WS)を行っています。

第9回WSのテーマ

川リンピックエリア、 どんど焼きエリアの未来を考えよう！

開催概要

日時：令和7年10月25日
13:00～15:00

会場：中島集会所

参加者：16名(子ども1名)

コミセンエリア予備設計の結果報告



コミュニティセンター前スロープのイメージ画

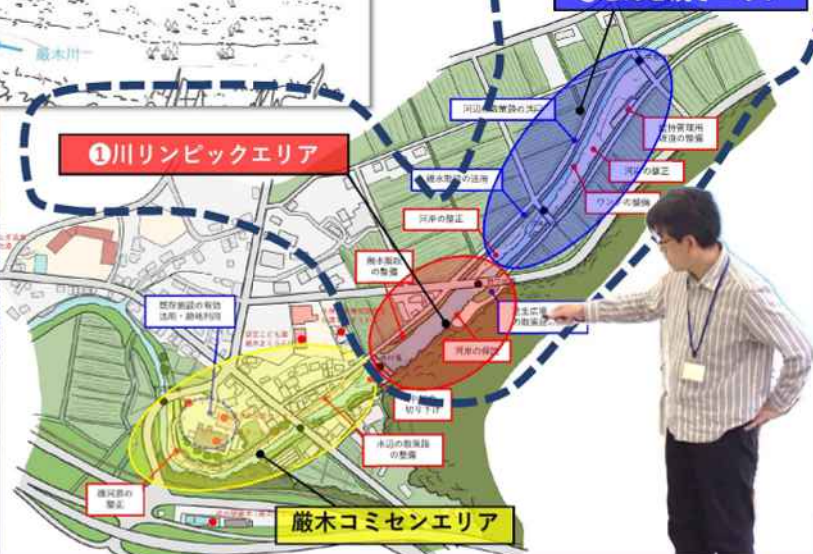


前回(第8回)ワークショップでの意見を反映した、厳木コミセンエリアの予備設計結果を報告しました。

今回テーマの2エリア

② どんど焼きエリア

① 川リンピックエリア

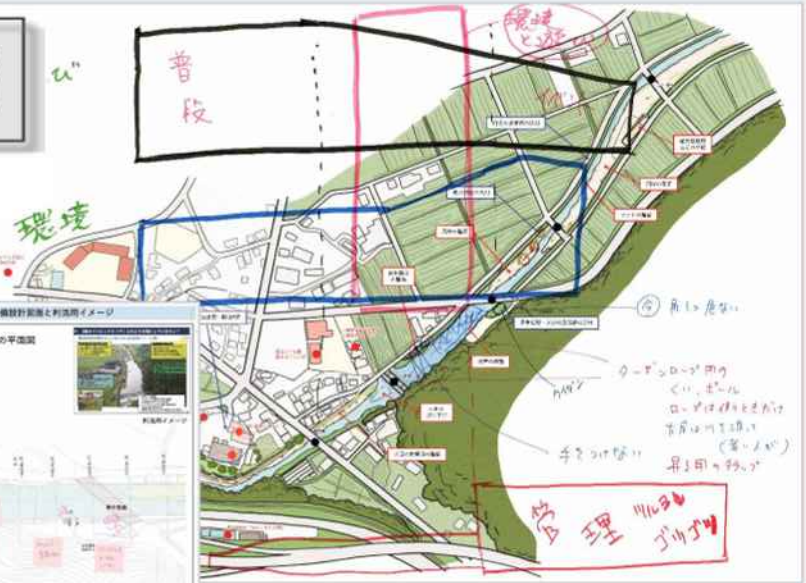


皆さんで
ワイワイ楽しく
意見交換！





それぞれの意見を
全力でPRします！



皆さんからの意見と発表の様子

川リンピックエリア・どんど焼きエリアの主な意見

二つのエリアの未来に向け、皆さんからエリアのレベルアップに繋がる沢山の意見ができています！

こままっていること・要望	川リンピックエリア	<ul style="list-style-type: none"> ・オアシス広場前からゴムボートを降ろしたり川に入ったりする階段等のアクセス路が欲しい(自然になじむデザイン、環境を保全できる範囲内で) ・河床の巨石が危険なので何とかして欲しい ・ターザンロープが設置しやすいような杭やポール、タラップを設置して欲しい。 ・オオカナダモの除去作業が楽になるよう、堰直上流の右岸側に階段が欲しい。 ・地元だけでなく他地域の人達にも使って欲しい。 ・右岸側は水遊びにアクセスしやすいので広々とした分かりやすい階段が欲しい。 ・右岸側でホテルを観光する際、土地勘のない人には真っ暗で危ないので、足元を照らす照明があるとよい。 ・右岸側でホテル観光できる広い階段護岸があるとよい。
	どんど焼きエリア	<ul style="list-style-type: none"> ・未来の担い手への負担を減らすために、どんど焼き範囲外の砂州を撤去して欲しい(治水などの問題があるなら無理は言わない) ・出来るだけコンパクトでフラットな整備が良い。 ・右岸側の護岸法肩～道路のスペースにサクラを植樹できないか？ ・川幅(水面幅)をひろげてほしい。 ・汐井川橋直下右岸の階段はスロープにしてほしい。

今回も未来の中島地区にむけ楽しく意見交換が出来ました

今後のスケジュール

- * 今回頂いた意見を踏まえ、未来に繋がる「川リンピックエリア」・「どんど焼きエリア」の計画・設計を進めていきます、どうぞ期待！
- * コミセン前エリアは11月から河原の整正工事が始まります！次回ワークショップでは現地確認に繰り出すかも？



令和8年2月：ワークショップ編

地域みなさんと
ともに作る！

「巖木川中島地区かわまちづくり」について
「かわ(巖木川)」と「まち(中島地区周辺)」が一体となった
より良い空間としていくためのワークショップ(WS)を行っています。

第10回WS

川リンピック・どんど焼きエリアどう変わる？ コミセンエリアのいま！見てみよう

開催概要

日時：令和8年1月18日(日)
9:30～12:30

会場：中島集会所

参加者：33名



どのような川に
するか思い浮かべて
フィールドワークへ
Go!

9:30 開会
9:35 全体説明

かわまちづくりの取組状況

- ・前回(第9回)ワークショップのおさらい
- ・川リンピック・どんど焼きエリアの整備計画(案)
- ・かわまちづくりの工事について

10:15 フィールドワーク

川リンピックエリア、どんど焼きエリアの
未来の姿を考えよう

11:25 これからの予定・閉会

プログラム

現段階での整備案を説明

実際見てみよう！(フィールドワーク)



川リンピック
階段の幅はどれくらい？

鬼火焚き※
広さはどれくらい必要？



※どんど焼きは、中島地区では「鬼火焚き」として行われています。

実際みなさんと川を歩いてどんな川にしたいか考えてみました

天候に恵まれ
フィールド
ワーク日和♪



どんど焼き
エリア



川リンピックエリア



スロープの傾斜を感じてます!



コミセン
エリア



階段幅を測ってみた

4mってどれくらい?



水衝部に石を
置いてみました

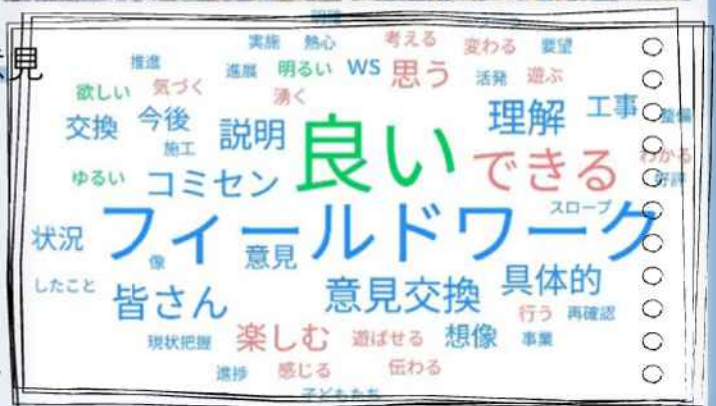


いろんな石の置き方を
試しています

■ワークショップに参加したみなさんの意見

今回のWSは、フィールドワークをしたこともあり、それぞれの現場でみなさんの想いや、どうしたら使いやすく、親しみがあり、愛される川になるか、活発な意見が飛び交いました。また、現場に行ってイメージがより具体的に想像できたという意見も多く頂きました。

意見の主要なキーワード分析▶



期待すること・要望	生物・河川環境	<ul style="list-style-type: none"> 生態系をこわしてほしくない。 ホテルがまたたくさんでようになってほしい。 継続的に(河川)形状を維持出来る工事にしてほしい。
	階段・施設	<ul style="list-style-type: none"> 階段の自然石は体裁はいい。しかし、踏みやすく安全を考慮して平な面はコンクリート、側面は自然石がいいと思います。 自然になじむ階段。洗い出し仕上げ 管理がしやすい施設、整備の負担が少ない施設がよい。 コミセンは落ち葉などの汚れが気になった。夏の川遊び前に掃除は必要。
	ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> 参加人員が増えるとよい、より多くの意見が欲しい。 工事の状況ごとにフィールドワークができるとよい。
	子ども	<ul style="list-style-type: none"> ある程度完成した時に可能であれば、さくらんぼ保育園園児の遊ぶ姿を見る保護者の意見を集められれば より良いアイデアが得られると思う。厳木町以外に住む子も多いのでよいくちコミにもなると思う。
	かわまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> みんなの協力、地域の協力が必要 計画通りに進めていただいている事に感謝します。 モニタリングして経験を生かすことが必要

将来の階段をイメージして...

WS参加者のみなさん
で選ぶ階段選手権!



■今後のスケジュール

- *今回頂いた意見を踏まえ、未来に繋がる「川リンピックエリア・どんど焼きエリア」について、より具体的な計画・設計を進めて行きます!
- *今後、計画に必要な測量作業なども実施していきます。ご協力のほどよろしくお願いいたします

川を見て・歩いて
みんな、気づくこと・
感じる事がいっぱい!
充実したWSでした。



▲功労者(団体)として『郷づくり事業推進委員会』が佐賀県知事より表彰されました!

オオカナダモ除去等の支援制度について

河川基金(公益財団法人 河川財団)

多方面の協力により造成され、河川などの整備・利用及び河川環境に関する調査・研究、川づくり団体の活動や学校（河川教育）を支援。



川づくり団体部門の支援内容（例）・・・ネットワークで川ごみ対策ヒシ除去体験事業

助成額は内容に応じて
上限額 30万～100万円

佐賀県KAWARUプロジェクト

県内の河川において、河川への関心を高め、理解を深めるための活動を行う県内の団体又は個人に対し、新たに河川等で取り組む活動に対して補助を行う。

対象補助事業

- 河川を活用した「森・川・海」のつながりを普及啓発するための事業（水源涵養や水循環を学ぶ事業等）
- 河川への理解を深め、河川に親しむ事業（川の学習会や川遊び、川下り、川床体験等）
- その他河川愛護の推進に資する事業（河川清掃&河川敷ウォーキング等）



補助上限額 30万円

該当する
項目